

南台の連携教育

第1号～第20号

<本校の連携教育のねらい>

- ①学びの連続性を重視した保幼小中連携教育に加え、地域・保護者の方々との連携も含めて「連携教育」を幅広くとらえる。その上で、様々な豊かなかかわり合いを通して育つ心情や学びを大切にしたい連携教育を推進する。
- ②統合再編に伴う地域や学区域の変化、今後の校舎移転に対応しながら、より地域に密着した「地域コミュニティの核となる学校づくり」を推進する。



平成31年 3月31日 (平成29年 4月1日開校)
中野区立南台小学校

南台の連携教育 第1号

南台小学校の連携教育

平成30年10月26日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

新年度から半年が過ぎました。折り返し点を過ぎ、後期がスタートして2週間となりました。統合新校として2年目を迎えた本校では、保幼小中連携教育を中心に、地域の小学校としての「連携教育」を重視し、「地域コミュニティの核となる学校づくり」を進めています。

4月の保護者会や学校評議員会、南中野地区民生児童委員協議会の皆さんとの懇談会等でもお伝えしてきた連携の内容です。統合新校2年目、折り返しの節目に、これまでの取り組みを「南台の連携教育」として少しずつ紹介していきます。



<本校の連携教育のねらい>

- ①学びの連続性を重視した保幼小中連携教育に加え、地域・保護者の方々との連携も含めて「連携教育」を幅広くとらえる。その上で、様々な豊かなかかわり合いを通して育つ心情や学びを大切にしたい連携教育を推進する。
- ②統合再編に伴う地域や学区の変化、今後の校舎移転に対応しながら、より地域に密着した「地域コミュニティの核となる学校づくり」を推進する。

<本校の連携教育の具体的な内容>

1 保幼小連携（南台小学校ファミリー幼稚園・保育園）

<みやしろ幼稚園、弥生保育園、南台保育園、中野みなみ保育園、

アートチャイルドケア中野南台森の保育園>

連携の視点は「聞く（聴く）、話す」・「特別支援教育」・「運動遊び」です。

年3回の情報交換会で教職員同士が確認しながら連携を進めています。2月に1年生との交流会を直接交流として実施しています。その他は学習のねらいに合わせて、随時設定しています。

同時に本校の施設（うさぎ小屋、図書室、空き教室等）を活用した交流や連携を進め、アプローチカリキュラムに取り込んでいただこうとしています。各園の運動会、保育園の4園交流会や保護者会、コンサート実施の会場提供協力を行っています。



2 小中連携（南中野中学校、みなみの小学校）



年3回のオープンキャンパスを実施し、南中野中学校を6年生が訪問する授業体験やクラブ体験は貴重な機会になっています。また、小中合同のあいさつ強化週間、中学生による中野の100冊の紹介・美術作品や書初め作品の展示、合唱コンクールの参観等という南中野中校区独自のことも行っています。小中相互に教員が訪問する乗入れ指導では、中学校の英語の先生が来校され学級担任とTTで学習をしま

す。また年2回、小中連携教育協議会として小中の教職員が一堂に会し、授業を見合っ
て会合をもち、連携のねらいや内容を確認し共通理解を図っています。

本年度から、オープンキャンパスや乗入れ指導を地域、保護者の皆様に公開し、参観し
ていただけるようにしました。また、小小連携として、みなみの小と学習規律や家庭学習
の共通実践を進めています。

3 保幼小連携と小中連携を繋ぐ各学年連携

全学年副担任制の中で、各学年団に特別支援教育コーディネーターを置き、子供のこ
とについての情報共有を密に行い、各学年間の接続を大切にしています。

たてわり班活動を中心に、異学年間交流を進め、近接学年から学ぶ機会を設け、移動教
室や学校探検、遠足等の学校行事の機会も活用しています。各学年が行う当番活動を設
け、学年末には引継ぎのために下学年が弟子入りをして、上学年から学びます。（6年：南
台太鼓<開門太鼓>・校旗

5年：朝礼台・ブラシ 4年：うさぎ小屋 3年：花壇 2年：水槽）

4 児童館・学童クラブとの連携

<みなみ児童館、多田学童、キッズプラザ新山、中野神明学童、コンビプラザ>

統合再編に伴って5か所に増えた児童館・学童クラブ等との連携、情報共有を随時進め
ています。学校行事や授業、様々な場面での参観を呼びかけ、児童の様子を見ていただ
いています。児童館と小学校で、6年間共に歩むパートナーシップを大切にします。

同時に南部すこやか福祉センターとの連携を図り共に個別支援計画の作成を進めます。

5 保護者との連携

教育相談機能を重視し、日常的に相談ができるよう組織編制（SC、心の相談員）して
います。（週3回そよかぜルーム<教育相談室>を開けています。）学級担任を始め、専
科や副担任とも相談できる年2回の教育相談週間を実施、状況で三者面談も行いま
す。

PTAクラス委員と各学年の打ち合わせの中で、学年学級運営のお手伝いをいただくと
共に、保護者会、懇談会への参加を促していただいています。連携して教育活動を進め
るために、学年だよりには、該当学年の「家庭学習のポイント」と「地域ふれあい学習」
の予定を掲載していきます。

6 地域との連携

学区域7町会自治会にご協力いただき、児童に地域町会、防災会所属意識の浸透を図
ります。各防災会担当の教職員を設定し、各町会、防災会で集まる機会を設けます。

地域の財産（近隣施設、企業、団体、自然等）を各学年の発達段階、各教科領域の
ねらいに即して学習に活用していきます。

（商店街、中野特別支援学校、多田神社、筆塚、日本ヴォーグ社、しんやまの家・・・等）

南中野地区民生児童協議会の皆さんとの懇談会を通し、相互の役割を理解するととも
にその周知に協力していきます。また、児童委員として、個別の対応を共に進めてい
きます。近隣町会、シルバー人材センターによる登下校見守り支援していただいで
いることを児童と共に考え感謝の気持ちを育てていきます。



7 「地域ふれあい学習」・「地域ふれあい展示」



「地域ふれあい学習」として、学校のことや地域にかかわる学習を展開する中で、必要に応じて地域人材・施設を活用していきます。その際には、ネーミング等も工夫し南台小学校オリジナルの学習展開を目指します。

（例：租税教室→地域の税理士さんによる租税教室）

校外学習の際の見守り支援等を含んだ保護者や地域の方が参加する学習や保護者や地域の方にご協力いただく学習も含めて「地域ふれあい学習」としていきます。

図工を中心とした展示を「地域ふれあい展示」として、校内や地域の様々なところで行っています。「地域ふれあい学習」と共にできる限りたくさんの方の鑑賞を呼びかけていきます。

8 南台小学校 学校支援ボランティア制度

地域、保護者の人材情報（環境整備等も含んで）の募集と整理を行うと共に、保護者の方々による図書ボランティアの組織化を進めています。近隣大学と連携し、大学生を中心とした継続的・日常的なボランティア、加えて地域にもボランティアの枠を広げ、「寺子屋南台」のスタッフを募集しています。学習支援以外にも環境整備や行事準備等の様々な学習支援を全校的に呼びかけていきます。学校評議員会でも意見をいただきながら、「南台小学校 学校支援ボランティア」（人財バンク）の運営体制の模索を進めています。



9 学校を活用した地域一体となった行事（統合再編、新校舎建築に伴う校舎移転対応等）

統合再編を機に計画した400名が参加する「7町会・自治会合同防災訓練」＜5月＞が定例化され、今後の校舎移転に防災の観点から対応できるようになってきました。避難所運営会議と連動して、内容面の検討を進めています。同時に、本校を会場に開催していただいている「かっぱまつり」＜11月＞は、昨年度1000名以上の方が来場しました。2つの行事は、学区域の地域が一体となって行う統合新校舎ならではの行事です。大変ありがたいことです。

地区委員会主催の「南中野地区大運動会」＜10月＞は、今後の南中野地域の学校の校舎移転に対応しながら開催していただいています。（今年度は実施できてよかったです。）

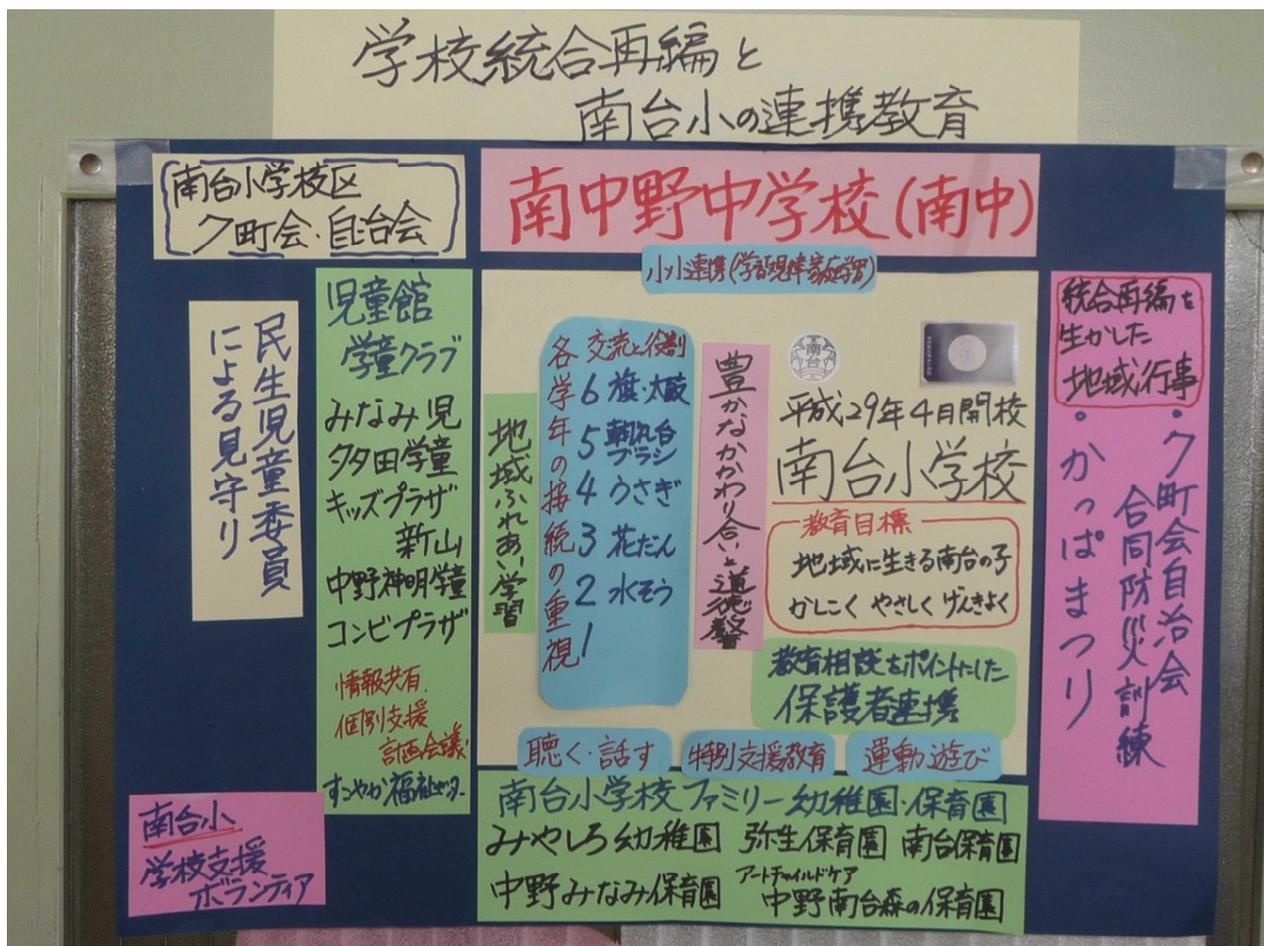
統合再編に伴い新たに立ち上がったPTAとの連携を深め、担任・専科が学年学級専科経営と授業づくりに専念できるように支援をお願いしています。

10 広報活動の組織化

本年度より配置された学校地域連携担当と教務主幹が協働し、連携教育推進の主担当となり、組織的な広報活動を進めます。情報配信システムメール配信とホームページ、学校だよりを連動させ、具体的な情報提供に努めます。学校だよりや学年だよりで「地域ふれあい学習」についてお知らせしていますが、加えて情報配信システムでも情報を提供しています。

次回からは、今年度進めている連携教育の具体例や今後の予定等を紹介していきます。

みんなで育てる南台の子



<南台小学校の連携教育推進のために>

- 統合新校、南台小学校にかかわる全ての財産（施設設備、自然、旧校の歴史、地域、保護者関係諸機関、近隣企業、雰囲気、人財・・・等）を南台小の子供のために活用して教育活動を進めていきます。
- 学校を内にも外にも開いて、訪問しやすい雰囲気を創り出し、情報共有を図ります。
- 学校の取り組みの見えにくいところ（学校公開日以外の授業や校内での集会や行事等）について、お知らせできる仕組みを模索し、参観等の機会を呼びかけていきます。

<10月19日(金)の学校評議員会でご意見をいただきました。>

- 連携教育の推進の際には、そこにかかわる大人は、「全ては南台小の子供たちの成長のためのもの」であることを認識して、物事に当たりましょう。
(子供第一で、何のためにかかわるのかを常に意識していくことが大切だと思う。)
- 授業が外部講師に「丸投げ」にならないよう、打ち合わせを大事にすることやそれをコーディネートするような機能をもてるようになっていくといいのではないかな。
- 学校にかかわるたくさんの方々がみんな力を合わせられるようになるといいですね。
- 統合再編した統合新校として、是非2年目のこの時期に大切にしていって欲しい。

南台の連携教育

第2号

平成30年11月 5日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

敷居を低くして保幼小連携を！

現在、本校が特に連携を深めている幼稚園・保育園は近隣の5幼稚園・保育園（みやしろ幼稚園、弥生保育園、南台保育園、中野みなみ保育園、アートチャイルドケア中野南台森の保育園）です。5園の園長先生方をはじめ、各園の先生方には、本校の教育活動をご理解いただき、たくさんのご協力をいただいています。

連携の視点は「聞く（聴く）、話す」・「特別支援教育」・「運動遊び」です。5園との情報交換会をもっています。その中で幼稚園・保育園の先生方のお話を伺ったり、園の様子を参観させていただいたりすると各園の特色が分かり、学ぶことがたくさんあります。

園児の皆さんにもたくさん訪問していただけるようにできる限り、学校の敷居を低くすることを目指しています。「実は学校の先生とは話しにくかったです。」、「こんなことお願いしてもいいのかなあと考えていました。」という言葉が園の先生方からも聞いています。直接的な交流はなかなか難しくても行事の機会や施設設備を活用していきたいと考えています。

日常的な訪問を通して、園児が小学校という施設に慣れ、教職員同士が話ができる関係になったりすることが増えてきています。連携を進める中、5園の園長先生方のお許しをいただき、「南台小学校ファミリー幼稚園保育園」と名乗らせていただいています。大変ありがたいことです。

距離を縮める年3回の情報交換会

3つの連携の視点に基づいての本校独自の情報交換会を年3回実施しています。子供たちが安心して就学でき、円滑に接続が図れるようにするための「南台小学校 関係幼稚園・保育園との情報交換会」です。小学校と幼稚園・保育園との距離を縮め、連携を深めます。

5月の第1回では、地域の関係諸機関の方も含めて、各園の園長先生、旧5歳児担当の先生方を中心に新1年生の学習の様子を参観、授業の最後には、学習に向かう姿勢を子供たちに直接褒めていただきました。とてもうれしそうな1年生の様子が印象的でした。10月は、中間の振り返りと就学時検診や施設活用の交流について話題にしました。2月は入学に向けてが話題になります。

情報交換会の中で、夏休み自由研究作品展や学芸会リハーサルのご案内をしています。また、施設を活用した小学校訪問の打合せ等を行い、今年度実現できたものもあります。日常的な連携・交流を今後も進めていきます。



・学習の様子を見ていただき、がんばる姿をほめていただきました。



・帰りの会の前に年長の時の先生方と、たくさんお話ししました。



・各幼稚園・保育園の先生方との話もスムーズになってきています。

小学校施設の活用による連携

関係の保育園4園は、「4園交流会」として、南台小学校の施設等を活用した5歳児の交流を行っています。体育館でのドッジボール大会、卒園式後の3月、入学前に校庭での交流会です。今年度は弥生保育園の「みんなのコンサート」を本校体育館で行っていただき、園児の交流を深めました。弥生保育園をはじめ各保育園の園長先生方のご尽力です。このコンサートには本校1年児童も参加し、生演奏を聞くという「本物に触れる体験」ができました。コンサートの後には「校歌：進め！南台小学校」を披露しました。

昨年度の統合再編に伴う小学校の減少と保育園の民営化や増加に伴い各園の運動会に校庭を使っていたいただいています。小学校の校庭での運動会も小学校に触れる機会です。



・みやしろ幼稚園の運動会です。卒園した小学生も出場しました。



・「みんなのコンサート」たくさんの園児、地域の方が来校しました。



・コンサートの後、「校歌：進め！南台小学校」を歌いました。

中野区教育委員会就学前教育のお便りに掲載

就学前教育連携通信

第5号

中野区教育委員会は保幼小連携教育を重点施策として推進しています。その様子を伝える就学前教育連携通信というお便りに本校の様子が掲載されたので紹介します。

<南台小学校 夏休み自由研究作品展の見学 9月11日(火)>



南台小学校で行っている「夏休み自由研究作品展」は、地域の就学前教育・保育施設にも公開されています。この日は、私立アートチャイルドケア中野南台森の保育園の5歳児が見学にやってきました。たくさんの作品をじっくりと見たり、触れてもいい作品にはさっそく手を伸ばして試したりする姿がありました。

その後、松井校長先生が校内を案内してくださいました。園児は教室の椅子に座ってその大きさを体験し、大きな黒板を目の前にして1年生気分を味わいました。続いて、園児は図書室を見学し、たくさんの本に思わず「わあー。」と歓声が上がりました。校内見学の最後は、1年生の授業を見学し、園児は目を輝かせ喜び一杯の様子でした。



・小学生が作ったスロットゲームを順番に楽しんでいる様子



・教室の椅子と机を体験している様子



・図書室でたくさんの本の中から選んだ本を読んでいる様子



・1年生の授業を見学している様子

南台の連携教育

第3号

平成30年11月13日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

6年目を迎えた区小中連携教育

中野区全体の小中連携教育は6年目を迎えています。本校は南中野中校区（南中野中、みなみの小、南台小）の3校での小中連携を進めています。統合再編前の旧校（中野神明、新山、多田）時代から、南中野中校区の連携校を「南中グループ」と名付け、南中野中学校を中心に連携を深めてきています。

中野区全体で進めていることは、年3回のオープンキャンパス（小学校6年生が参加します。）、年2回の小中連携教育協議会（互いの授業を見合って、連携の柱や内容について小中の教職員が協議します。）、互いの校種への乗り入れ授業（小学校6年生に中学校の教員が乗り入れる、中学校1年生に小学校の教員が乗り入れる。）を行っています。乗り入れ授業は、全てをお願いしてしまう出前授業ではなく、小中の教員が複数で進めるTT（チームティーチング）で実施しています。これがオール中野の取り組みです。



・第1回オープンキャンパスは、授業見学と部活動見学が中心です



・第2回オープンキャンパスは、実際の授業と部活動を体験します。



・乗り入れ授業では、南中野中の先生とTTで授業を進めます。（英語）

南中グループでは・・・

2回のオープンキャンパスは、南中野中のご協力があって成り立っているものです。特に2回目は、中学生は一度下校し、部活動体験のために再登校しています。この間の時間で小学生が授業体験をさせていただいています。ありがたいことです。今年度は南中野中のご厚意でこのオープンキャンパスを地域や保護者の皆様にもご覧いただいています。第3回は、2月16日（土）で、南中野中学校の新入学生対象の学校説明会もあります。どうぞ予定ください。

南中グループ独自の取り組みのひとつは、小中合同あいさつ強化週間です。年3回、南中野中の生徒会の皆さんが来校し、正門と裏門で小学生とあいさつ運動を展開しています。今年度は、期間中毎朝来ていただいています。本校はこの期間に合わせて、代表委員会とボランティア委員会児童と一緒に正門と裏門に立ち、さわやかにあいさつを呼びかけています。10月には、小学校3年生のあいさつ当番も一緒に行い、にぎやかな朝のあいさつ運動になりました。通勤途中の地域の方々からもたくさんのあいさつをいただきました。次回は1月下旬です。是非、あいさつの運動やその輪を地域に広げたいと考えています。



・1週間、毎日、南中の生徒会の皆さんが幟（のぼり）を持って来校します。小中学生交互に並んで、あいさつ運動を展開します。

・中学生の迫力と真剣さに圧倒されました。とてもよい学びです。

また、6年生が南中の合唱コンクールリハーサルを参観する機会があります。6年生は、中学生の奏でるハーモニーに聴き入り、あこがれの存在を見るようなまなざしで参観していました。

同時に各学級でコンクールに丸となって取り組んでいる中学生らしい真剣さに触れることもできる貴重な機会です。



・中学3年生の卒業前ボランティア、1年生は鍵盤ハーモニカを列ごとに教えてもらいました。上達した子がたくさんいました。休み時間は目いっぱい遊んでもらいました。

この他にも、中学生が「中野の100冊」をポップで紹介してくれて、小学校の図書室近くに飾り、読書への意識付けを図っています。中学生の美術作品や書初めを小学校に展示することも昨年度より行っています。年度末には生徒会が5年生を訪問し、南中野中学校の紹介を行います。さらに、中学校3年生が卒業間際に小学校にボランティアとして訪問、授業のお手伝いもしてくれます。



いたのですが、昨年度はあいにくの雨天で実施できませんでした。今回、延期もありましたが初めて実施できてよかったです。

演奏曲は「RPG」。これは小学校が先行して練習していて、できるようになっている曲に南中野中が合わせて下さって実現できていることです。当日は、地域の方々にもたくさん声をかけていただいた3校合同演奏になりました。保護者の皆様も多数のお手伝いをありがとうございました。

今年は、地域の行事「南中野地区大運動会」で、南中野中、みなみの小、南台小3校合同での入場曲演奏が実現しました。統合再編新校開校と同時に準備して



・初めて実現した3校合同演奏、中学生からたくさん学び、当日はたくさんの拍手ももらいました。

南中ボランティアに感謝

本校の運動会の際に、南中野中の生徒さんが受付と片付けの手伝いをしてくれました。「南中ボ



・PTA副会長さんから、中学生に直接、お願いと依頼をしていただきました。

ランティア」です。今年度の地区懇談会の際に、南中野中の池田校長先生から、「地域の方から直接ボランティアを依頼して欲しい。」というお話があり、運動会のボランティアのお願いにPTAの副会長さんと南中野中まで出かけました。やる気にあられる中学生が20名以上集まっています。直接お願いをすることができました。PTA役員の皆さんにも感謝です。当日、「ようこそ南台小学校の運動会へ。お越しいただきありがとうございます。南中ボランティアです。ご案内します。」とさわやかな中学生の声が聞こえていました。受付のPTAの方から

「受付に中学生がいてくれて、自分の子供の出番の時にゆっくり見ることができました。」、地域の方から「来賓席まで案内されて、やさしい気持ちになった。」というお話を伺いました。

運動会の振り返りの中で、本校児童からこんな言葉がありました。「自分が今、通っていない小学校なのに、じゅんぴやかたづけのてつたいをしてくれてありがとうございました。ぼくはボランティアの人が活動しているのを見て、自分もこうしたいと思いました。」

このような豊かなかわり合いの中で、お世話になった小学生の子供たちの内面にもボランティアの気持ちがはぐくまれていくことを願っています。

南台の連携教育

第4号

～明日は「かっぱまつり」でお世話になります
みなさんであいさつを交わしましょう～

平成30年11月16日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

保幼小連携と小中連携をつなぐ

ここまで、第2号から保幼小連携教育と小中連携教育を紹介してきましたが、その間をつなぐ各学年間連携の具体的なことについてお伝えします。

全学年副担任制で、低・中・高学年団に特別支援教育コーディネーターを配置しながら、子供のことについての話も十分行い、各学年の接続を大切にします。「全児童を全教職員で育てる」スタンスです。

その上で、たてわり班活動をメインに異学年と交流して学び合うことを設けています。開校時に1～6年生の全学年が所属するたてわりグループを編成しました。今年は全部で12班・24グループ(1班A・B～12班A・Bです)1班をA・B2グループに分け、1グループの編成は12、3人程度で、6年生にとってはリーダーを誰もが経験、メンバーにとっては、グループの顔と名前が一致する(「あの子は、6年生の〇〇さんだよ。」)たてわり班活動を目指しています。主な活動は、遊びはもちろん、給食、清掃、そして集会と多岐に渡ります。



・外遊びだけでなく、室内遊びでも交流します。(写真はハンカチ落とし)

この他の異学年交流も進めています。遠足でもこのたてわり班を生かして実施しました。1、2年遠足(新宿御苑)、3、4年遠足(光が丘公園)も、このたてわりメンバーで出かけました。どちらも現地でオリエンテーリングやグループ活動を行い、お弁当も一緒に食べました。

5、6年生は移動教室の事前事後の学習で交流が生まれました。5年生が6年生から移動教室の心構えや準備等を学び、移動教室後には報告会をしました。6年生の留守中は5年生が最高学年として学校を守ります。この他にも生活科の学校たんけん等の授業や委員会・クラブ活動も含め、異学年の交流を進めています。



・3、4年の遠足ではグループで文字をつくりました。

また、2年生以上は学年単位で学校の仕事を担っています。

2年生：水槽 3年生：花壇 4年生：うさぎ小屋

5年生：朝礼台・校庭ブラシ 6年生：校旗・南台太鼓 です。

この仕事を1年間行い、学年末には各々が1つ上の学年から学ぶことで、交流も生まれます。弟子入りもしたいところです。

さらに、学習を進める際に大切にしている「学習規律」(発言の仕方や発言の聴き方等)を学校でそろえ、さらに「家庭学習」を加えて、みなみの小学校とも連携を図り、同じ考え方で進め、南中野中進学につながるように努めています。けれども、最もベースになるのは学年学級経営専科経営であることは変わりません。このようにして、保幼小連携と小中連携をつなぎ、保幼小中連携教育を進めています。

・移動教室報告会では、フォークダンス「オクラホマミキサー」を5、6年生で一緒に踊りました。



学校行事に見る“連携教育”

先週の学芸会、何とか天候がもち直し、過ごしやすい体育館で行うことができました。多数のご来校をありがとうございました。2日間の来校者は記録上、777名でしたが、児童、教職員等全て含めると1000名を超えていたと思います。南台小だより11月号でも触れましたが、学校行事における“連携教育”について考えたいと思います。

<運動会>

まずは、準備、片づけとお手伝いいただいた地域・保護者の皆さんに感謝です。そして、実施順延についてはその判断を待っていただき、何と言っても時間をいただいたと思っています。校庭状況、児童、保護者、地域、教職員等様々な観点から、今回の時刻での判断となりました。ご感想にも、「もう少し早い決定が欲しい」ということと「早めての配信がありがたい」という両方がありました。今回は、学校としては様々な状況の中のできる限りの判断であったと考えています。今後も様々なことを考えながらできる限り早い判断をしたいという考えに変わりはありません。順延になり、日曜にもかかわらず応援に来て下さった各幼稚園・保育園、児童館や学童クラブ等の先生方、テント内外から大きな（黄色い）声での声援に感謝します。

開門時刻を考えながらご来校いただき観覧していただいた地域、保護者の方々、午後はお客さんが少ないだろうとわざわざ午後にテントを訪ねてくださった方もいらっしゃいました。PTAと来賓受付等をしてくれた南中ボランティアの生徒さん…、思いやり、ゆずり合って観覧いただいた皆さん…、ありがとうございました。そして、運動会で最も効果を発揮した「連携教育」は保護者の皆様をはじめ、たくさんの方々運動会のねらいや趣旨を受け止め、ご理解いただき、練習段階から学校と同じスタンスで子供たちにかかわってくださったことです。様々なことが重なって力となり子供たちは思い切り演技、競技ができました。

<学芸会>

保護者の方々の入れ替えに近い形での座席のゆずり合いには本当に感謝いたします。さらに、どの方にもこの思いやりとゆずり合いをお願いできるよう学校としても発信を続けていきます。その中で、学校の反省もあります。幕間に席を動いてゆずり合っていたいていますので、安全面から照明を当てたり、出入りの際の配慮や工夫が必要であったと考えています。各学年の開始時刻の目安もお示しできるようにしたいと考えています。



・弥生保育園の年長さんが、5年生の「魔法をすてたマジョリン」を見てくれました。

当日までには、リハーサル時に保育園年長児が来校、ドキドキしながら見てくれました。児童鑑賞日に中野特別支援学校の5、6年生が交流学習中の5年生の演技を見に来てくれました。

特別支援学校の先生からは、「歌も踊りも見ごたえがあって、感じる子がたくさんいました。」とお話いただきました。金、土に渡って児童館、学童クラブの先生方も多数来校されました。普段お世話になっている「その子」のがんばっている姿を見て涙があふれてしまったそうです。

保育園の園長先生からは、「小学校になると人数が多いので、一人ひとりの出番は保育園のときほど多くはありませんでしたが、みんな大きな声で堂々と発表できていました。楽しい1年を仲間と過ごしている様子を垣間見ることができました。次の1年生も自信をもって送り出せるようこれからの保育内容を更に充実させていきたいと改めて思いました。」と感想をいただいています。保幼小連携に生かして下さっているようです。

学芸会の至るところに垣間見られる連携教育、キーワードは「かかわり合い」です。・・・(続く)

南台の連携教育

第5号

平成30年11月22日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

続：学校行事に見る“連携教育”

(4号続き)…学芸会の至るところに垣間見られる連携教育、キーワードは「かかわり合い」です。

異学年のかかわり合いもたくさん見られました。4年生と5年生はどちらも魔女役があり、互いの演技を見て帽子のかぶり方や魔女の動きやセリフに工夫を取り入れていたようです。5、6年生は係活動で学芸会を裏方でも支えていましたが、この係活動の中で3年生のライトの当て方が工夫されているのを見て、自分の学年の劇のライトの当て方に変化をつけたようです。学芸会終了後には、各学年から他の学年へメッセージがそれぞれ贈られています。各学年の廊下に掲示してありますので、ご来校の際は是非ご覧ください。



・各学年の演技や係活動に心を込めてメッセージカードを書きました。

学芸会で、保護者の方にもまずお礼申し上げたいのは、衣装への多大なるご協力です。ご来校いただいた学年もあり、他の子供の分まで用意して下さった方もいました。大変ありがたかったです。その上で、学芸会でも最大の効果があったのは、運動会と同じように、この行事のねらいや趣旨をご理解いただいて、ご家庭で寄り添い、接していただいていたことです。子供たちの下校の際に、ある保護者の方が、声をかけてくださいました。「うちの子があんなに声が出ていて、立派にできると思いませんでした。家でも毎日やっていたんです。」わたしは、子供もわくわくしていると思いますが、お家の方もお家で一緒にわくわくしてくださり、本番を少し離れたところから、見守っていただいていたことのお礼をさせていただきました。

また、あるお子さんが、リハーサルの日から体調が思わしくなく、どんなにがんばっても声をなかなか出すことができません。ほとんどの教職員も分かっている、体調を心配し、当日も励まし見守ることしかできませんでした。できて本当によかったと思っていました。学芸会終了後、偶然ですが、このことをお家の方とお話する時間ができ、同じように考えていらっやったことが分かりました。その後、担任にも話を聞くと、この接し方に深い感謝の気持ちをもっていました。とてもありがたいことです。繰り返しになりますが、学芸会のねらいや趣旨をご理解いただき、ご家庭で寄り添い、接していただいていることに深く感謝申し上げます。

かっぱまつり速報

17日は、本校を会場とした学区の7町会自治会によるかっぱまつりでした。今年は、南台小音楽隊がオープニングで演奏、たくさんの拍手をいただきました。みなみ児童館を事務局とした運営には、子ども実行委員40名、大人実行委員は200名程…たくさんの方がかかわっていたのです。大人の実行委員会は本校の家庭科室に何度も集まり、様々な想定で準備を進めて下さいました。頭が下がります。まつり当日は晴天にも恵まれて、1000名以上の方が来場され、来場者みなさんであいさつを交わすまつりとなりました。

子供も大人も地域の中で互いに少しでも顔見知りの方が増えるといいなあと強く思います。

・大人実行委員会には、たくさんの方が集まって、話し合いが持たれています。



南台の連携教育

第6号

平成30年12月 5日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

「地域学習」から「地域ふれあい学習」へ

これまで、「地域学習」と呼んでいましたが、今年度は、保幼小連携、小中連携、地域連携等の「連携教育」全体を見渡しなが、幅広くとらえ「地域ふれあい学習」とネーミングして実施しています。

「地域ふれあい学習」とは、

- ①地域や学校についての学習
- ②地域に出かけて、地域にふれる学習
- ③地域の施設や企業での学習
- ④地域の方や専門家等の外部人材（人財）をゲストに招いての学習
- ⑤地域の学校や幼稚園、保育園、関係諸機関等と連携した学習
- ⑥地域や保護者の方が共に参加する学習 等です。



・音楽の時間に、早稲田大学のオーケストラを招き、本物の金管楽器の演奏を聴き、演奏体験もさせていただきました。【第4学年】

南台小が位置しているこの南台、南中野、中野区、広く考えれば東京都という地域の財産を生かすことで、その教科の学習のねらいを達成することが一番の目的です。副次的な効果として、地域にふれることで、子供たち自身が地域や学校への愛着をはぐくんでいくことも期待しています。これは統合新校として大切にしていることです。今年度は、学年だよりやHP、情報配信メール等でお知らせできるよう努めています。都合がございましたら、参観、参加にお越しく下さい。

これまでの学習から

4月から各学年が様々な形で取り組んでいます。一部を紹介しま



・中野特別支援学校の1、2年生と台風の目やブルバレーンで交流しました。【1年生活科】



・町に出かけて、南台にある素敵な場所をさがしました。(写真は多田神社)【2年生活科】



・中野特別支援学校を交流訪問する前に、中野特支の先生からお話を伺いました。【3年総合】



・中野消防署南中野出張所に出かけて、地域の消防のお話を伺いました。【4年社会科】



・漁業に詳しい専門家を招いて、実際の真鯛に触れ、育てる漁業を考えました。【5年社会科】



・南中野中学校で中学の授業体験をしました。(写真は理科)【6年オープンキャンパス】

南台の連携教育

第7号

平成30年12月 7日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

「ふれあい学習」は「ふれあい展示」へ

これまでも図工科を中心に、校内及び地域に作品展示をさせていただいていました。「地域展示」です。校内での展示には、メッセージコーナーを設け、他学年の児童、地域、保護者の方からの感想をいただき、「かかわり」を意識していました。その部分も強調して、「地域ふれあい展示」としての作品展示に進化してきました。校内には継続的に様々な作品展示がされています。また、機会をとらえて、積極的に地域への展示も行いたいと考えています。そして、様々な方々に、展示の工夫にもお力添えいただいています。この展示も情報発信していきますので、どうぞご覧ください。



・「ビーンズくんの船」【4年】日本ヴォーグ社からいただいた布をたくさん活用しました。



・「こんにちは、ふわふわさん」【3年】校内展示後、日本ヴォーグ社の玄関に展示されました。(撮影許可済)



・夏休み自由研究作品展です。保護者の方に加えて、保育園の年長さんが見に来てくれました。



・5、6年生の作品が、南中野地区まつりで、南中野区民活動センターに展示されました。



・「私のアイデア貯金箱」、南台三丁目郵便局のご厚意で、郵便局への展示が実現しました。



・「私はデザイナー」【6年】設計から組み立てまで全て自分で行った6年間の集大成作品です。

・メッセージコーナーには、たくさんの感想が寄せられます。

連合音楽会への応援



4、5年生は2年に一度の連合音楽会に参加しました。南台小の代表として中野 ZERO ホールで発表する前に、音楽朝会で校内向けに発表しました。1～3、6年生からは、感想とともに応援のメッセージをもらいました。



また、保護者の皆様もたくさん見に来てくださり、終了後に本番に向けて激励をいただきました。これも連携教育のひとつだと考えています。30日のZEROホールでは、午前の部のラストを飾っての演奏を行いました。応援ありがとうございました。

明日は南台マラソンです。自分のペース（無理のない速さ）で走りきることが目標です。順位ではなく、自分の伸びを大切にできるよう指導を重ねてきました。得意な子も苦手な子もいます。ご家庭でも同様のスタンスで応援、励ましをお願いします。
53名の方に安全確保の申し込みをいただきました。大変ありがたく思っています。

南台の連携教育

第8号

平成30年12月11日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

互いの授業や取り組みを見合う保幼小中連携

本校では南中野中、みなみの小、そして関係の幼稚園・保育園（南台小ファミリー幼稚園保育園）と保幼小中連携教育を進めています。それぞれの学校、園では特色ある取り組みがあります。時間的になかなか難しいことですが、中学校や幼稚園、保育園の授業や取り組みを拝見する機会もあります。



・打合せの様子です。学習のねらいに沿った指導の方法や分担を話して、TT授業が進みます。

南中野中学校で教員向けの授業公開があり、本校から3名で参観しました。3年生英語科です。英語科ですが、自己肯定感、自己有用感に着目した授業です。大変穏やかな雰囲気の中で、進められた学習でした。知っている生徒さんもたくさんいて、とても楽しく拝見しました。

授業者の先生は、春に本校にも乗り入れ指導に来て下さっています。乗り入れ指導で来校された際には、6年担任と当たり前のように学習についての打合せがあり、TTで授業が進みます。この顔と名前的一致する関係が連携には必要不可欠です。後日談ですが、この小学校での乗り入れのTTでの学習の後、中学校の先生に「この前は英語の授業をありがとうございました。」と伝えに行った子供がいましたと中学校の先生に教えてもらいました。とても心あたたまるかわりです。

運動遊びを取り入れている弥生保育園が定期的に活動している弥生公園に、本校の教員が参観に行かせてもらいました。本校の保幼小連携の視点の一つである「運動遊び」と小学校体育がどうつながっているかを考えるきっかけになったようです。滝瀬園長先生のご配慮で、今後運動遊びのレクチャーのチャンスもいただけそうです。

地域ふれあい学習を生かした保幼小連携

12月7日（金）、関東給食会（本校への給食食材納入業者）のご厚意で、「ぎょしょく教育」を推進している愛媛県愛南町から鮮魚が届きました。（9月に5年生が真鯛を活用した「育てる漁業」の学習をしています。）これも、「地域ふれあい」学習です。

今回は、2年生が図工科の学習で生の魚に触れ（ぎょしょく：魚触）、たっぴり触って、魚の絵を描きました。その後、この魚は、3つの保育園の年長さんに活用され、たっぴり触ってもらいました。小学校を会場とした年長児の小学校体験です。合間に、南台保育園の子供たちに1年生の学習の様子を見てもらいました。しっかり学習する1年生にかっこよさを感じているようです。また、年長さんに見てもらって、さらにはりきって学習に臨む1年生の姿も印象的でした。これから3か月半過ぎると、年長児は新1年生として入学、1年生は2年生になり1年生を迎えます。互いに楽しみにしてくれたらと思います。



・生の魚の感触を感じてから、絵を描きました。



・1年生の学習の様子を見ている年長の皆さん。



・見守りの中、多田神社脇の坂を駆け上がります。

晴天のもと、地域、保護者、警察、清掃事務所、近隣店舗等のご協力の中、たくさんの方々の安全確保、見守り、そして応援のおかげで、第2回南台マラソンを無事に行うことができました。ありがとうございました。

19日（水）5校時は小中連携教育協議会の授業です。保護者・地域の方の参観も可能です。どうぞ学習の様子を見にいらしてください。

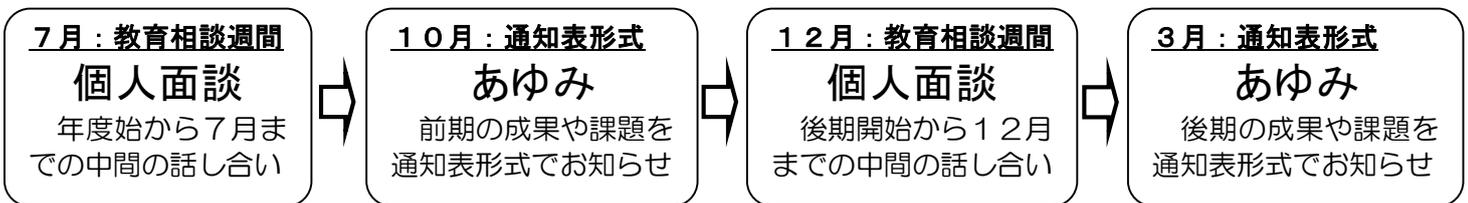
南台の連携教育

第9号

平成30年12月13日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

よりよい教育相談週間（個人面談）に

本校では、学習状況についてお話ししたりお知らせしたりする機会が教育相談週間（個人面談）が2回、通知表「あゆみ」でのお知らせが2回、下記のように年間4回あります。長期的に児童を伸ばそうとする評価の考え方で指導に当たっています。評価を直接お伝えするその3回目である教育相談週間（個人面談形式で三者面談も可能）が始まっています。そこで、教育相談週間での学習状況のお知らせの仕方や通知表「あゆみ」との関係等について改めてお伝えします。



1 基礎・基本となる学力の確実な定着を目指す評価

学習の評価とは、子供がもともと持っている力を測定するものではなく、指導したことで、子供がどれだけ基礎・基本の目標を身に付けられたかの実現の状況を表しています。

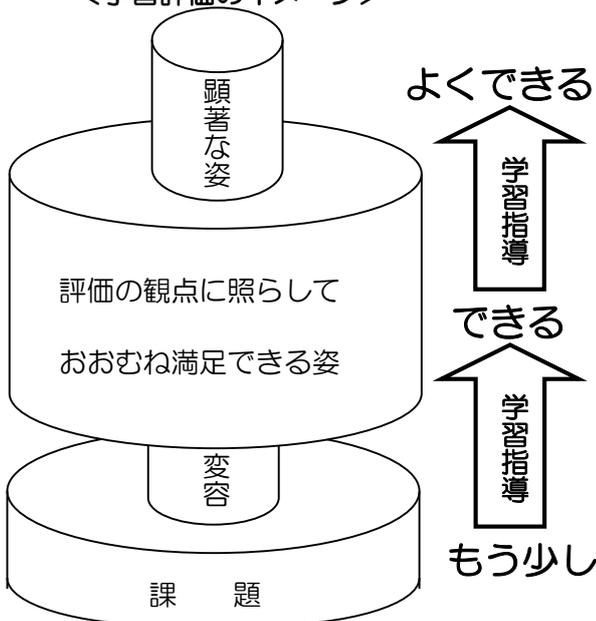
テストの点数のみで、例えば「〇〇点以上をA、△△点未満をC」と当てはめるわけにはいきません。学習の目標に対して、授業中での理解度・発言・ノート・学習シート・学習カード・提出物・テストなど全てを鑑みて「おおむね満足」という到達ラインが必要になります。

この到達ラインを単元毎に設定し、学習を進める中で、評価しながら「おおむね満足」の状況を実現していない子がいれば、指導を行い、基礎・基本を定着させていく必要があるという考え方です。（指導の仕方は多様にあります。残り学習や寺子屋南台、宿題もそのひとつです。）

理想は、全員が目標に対して「おおむね満足」になることです。

2 教育相談週間（個人面談）の役割

＜学習評価のイメージ＞



ていねいな学習評価のためには、長い期間での指導と評価の繰り返しが必要です。そこで、7月と12月に教育相談週間（個人面談）を設定し、通知表の間でお伝えする機会があります。学習面の内容は、

- 学習状況について
- 学習を進める中でのお子さんの変容
- 目標に到達していない学習の家庭・学校における今後のめあてや学習の方法 等です。

この中で変容の様子や努力点は一人ひとり異なり、通知表形式で表すのは困難です。必要に応じて子供の学習の作品や資料を用いて、面談（必要な場合は三者面談も可能です）を通して相談します。

また、長期休業やその後の家庭学習の在り方などや生活面についても話題にします。短い時間ではありますが、有意義な大切な時間です。担任と保護者の方で面談での内容や考え方を共有していただき学校と家庭の双方から子供たちの支援ができるようにしていきたいと考えています。

尚、副担任や専科、特別支援教育コーディネーターや養護教諭とも相談ができます。お申し出ください。

＜「そよかぜルーム」（教育相談室）もご利用ください。＞

そよかぜルーム（2F教育相談室）では週3日間、相談活動を行っています。金曜にスクールカウンセラー、月・水曜は心の教室相談員との相談ができます。担任や副校長にお申し出いただければ予約もできます。保健室にお声かけいただいても結構です。

南台の連携教育

第10号

平成30年12月25日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

南中野中校区の小中連携推進

以前にもお伝えしましたが、中野区では年間2回、小中連携教育協議会として、中学校区毎に小中の教職員が一堂に会し、会場校の授業を参観し、協議する会があります。南中野中校区では、6月には南中野中が、12月には小学校が輪番で会場を提供しています。今年度は南台小を会場に19日に実施しました。

協議では約70名が5つの分科会に分かれて南中野中校区の小中連携について話し合いました。分科会のテーマは、

- A：小中連携教育【乗り入れ指導や合同行事等】
- B：外国語教育【小中英語教育連携】
- C：生活指導【SNSルールや学習規律等も含んで】
- D：特別支援教育【中野特別支援学校との交流も含んで】
- E：特別活動【キャリア教育、読書活動、児童会・クラブ活動等】です。



分科会での小中連携の話し合いの様子

その後の5校時には全学年学級の授業を公開、南中野中とみなみの小の先生方と学び合う機会です。様々な教科・領域の学習を展開しました。今回は地域、保護者の方々にも参観を呼びかけました。土曜日の学校公開日とは違った雰囲気であったと思いますが、子供たちは張り切って学習していました。今後も様々な機会にご案内いたしますので学習の様子を見にいらしてください。



1年 国語 日づけとよび



1年 道徳 はなばあちゃんが わらった



1年 音楽 おとでよびかけっこ



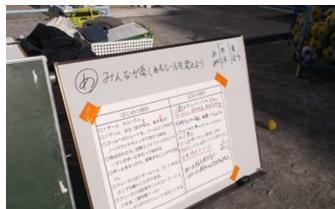
2年 生活 つくってためして



2年 図工 カッターナイフタワー



4年 外国語 アルファベットで文字遊びをしよう



4年 体育 アルティゲットゴール

**学習の様子を
子供たちから
も聞いてみて
ください。**



3年 算数(少人数3展開) はしたの大きさの表し方を考えよう～分数を使って



5年 総合 OUR FRIEND 中野特別支援学校



6年 学級活動 卒業プロジェクト～自分たちができること～

・ ・ ・ 様々な場面での連携教育 ・ ・ ・

「冬におすすめの本」展示 ＜図書ボランティア＞

保護者による図書ボランティアの方々の活動で、2Fの図書掲示板に「冬におすすめの本」が紹介されました。冬らしさを工夫されたとても素敵な展示で、子供たちも見入っています。ありがとうございます。



「中野の100冊」POP展示＜南中野中学校＞

南中野中の生徒さんが、「中野の100冊」から選んだ本のPOPが展示されました。図書ボランティアの「冬におすすめの本」と合わせ、すぐに図書室で借りられるようになっています。

地域ふれあい展示＜5年:糸のごドライブ＞

図工だよりも掲載した5年生の力作です。年明けも展示しています。メッセージコーナーに、5年生へのメッセージをお寄せ下さい。



折り紙による展示＜紙千代倶楽部＞

地域の折り紙サークル「紙千代倶楽部（かみちよくらぶ）」さんによる展示です。タイトルは「クリスマス準備中」、本校の先生方と制作しました。子供たちも立ち止まってよく見えています。ありがたいことです。

南台小学校音楽隊 ミニ♪コンサート

12月21日（金）体育館を会場に音楽隊のミニ♪コンサートを開催しました。ジングルベル他、楽しい曲を演奏しました。たくさんの皆様のご来校ありがとうございました。



フラッグフットボール体験教室＜富士高等学校＞

南中野にある富士高アメフト部によるフラッグフットボール体験教室が12月26、27日に本校会場に、南中野地域の南台小とみなみの小の子供対象に開催されます。

「地域ふれあい学習」の日＜1月12日(土)学校公開日＞

1月の学校公開日は、「地域ふれあい学習」の日として、全学年学級で地域の方を招いての学習や保護者の方々に参加していただく学習、地域を題材とした学習を行います。各学年学級、工夫して準備を進めています。ご参加、ご協力をお願いいたします。

南台の連携教育

第11号

平成31年 1月 9日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

団体・企業の皆様の心寄せ

「地域ふれあい学習」、「地域ふれあい展示」というネーミングで様々な教育活動を積み重ねることができ始めました。保護者の方を始め、南台小学校区域、近隣、様々なご縁ある方々に陰に日なたにお世話になっています。学区域7町会自治会を始め、民生児童委員の皆さん（南中野地区民生児童委員協議会）、地区委員会の皆さん（青少年育成南中野地区委員会）、地区懇談会の皆さん（南中野中学校区地区懇談会）には既に当たり前のようにお力添えをいただいています。本校がご協力いただいている近隣の団体や企業、会社についてお伝えします。



南台商店街

地域とのつながりをまず一番に持たせていただきました。子供たちは地域の学習の取材をととても楽しみにしていました。



しんやまの家

1年生の「昔遊び」の学習に参加していただきました。1月の交流学习に関連して、地域でのかかわり合いが広がっています



関東給食会

地域の給食食材納入業者です。愛媛県愛南町の「ぎょしょく学習」、食育研修や地産地消でお世話になっています。



日本ヴォーグ社

本校開校の年に本校学区域にいらっしゃいました。工作美術クラブが訪問して活動しました。教材も提供いただいています。



紙千代倶楽部

地区まつりで素敵な作品に出会い、紹介をお願いしたご縁です。玄関の作品展示が開始、とにかく子供たちに見て欲しいです。



前田工務店

本校に一番近い企業・会社です。町会木工教室や防災訓練でもたくさんお世話になっています。図工教材も提供いただいています。



南台郵便局

手紙文の教材やはがきの提供をいただいています。「貯金箱コンクール」では、応募の際、写真撮影の支援をお願いしました。

全てを紹介はできませんが、大変ありがたいことです。それは、本校や子供たちへの心寄せがあるからです。この他にも、お声かけがあっても、本校の教育活動への位置付けが難しい場合があります。しかし、地域における子供たちの学習の貴重な財産です。今後も情報提供をお願いします。

南台の連携教育

第12号

平成31年 1月11日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

「地域ふれあい学習の日」にどうぞご参加を

「地域ふれあい学習」というネーミングを設けて地域にかかわる学習を進めています。新校舎設計のアンケートの「残したいこと」や今回の保護者アンケートの中でも「地域ふれあい学習」や様々な連携については肯定的な評価をいただいています。ありがとうございます。また、「この連携や人材活用は、子供たちの成長にかかわる大切なことであり、子供のためにある」という考えをより一層強くもって内容にも磨きをかけていきます。

「地域ふれあい学習」は、様々な側面をもち、年間を通じて取り組んでいます。各々にその学習の教科領域のねらいがあり、そのねらいを達成すること一番で、そのために、ゲストや人材（GT）の活用があります。その考えのもと、学習を進めていく中で、子供たちが地域へのかかわりあいやふれあいを感じ取ることができると思います。学習の中で、一緒に活動したり、考えたりする場面もあります。「地域ふれあい学習」以外でも一緒の場面を設けていることもあります。今回は、どうぞ参観から参加へと少しシフトチェンジをお願いします。

学校公開日は、校内書初展です。また、南中野中学校3年生の美術作品展示も行っています。併せてご鑑賞ください。

1年 生活 「ふゆと ともだちになろう」 GT：しんやまの家の皆様

昔遊びに挑戦します。「しんやまの家」の皆様にご教壇をいただきます。コマ回しやけん玉に保護者の皆様も一緒に挑戦してください。また、子供たちのチャレンジをお手伝いください。

2年 生活 「おかえり せんぱい」 GT：保護者の皆様

グループになって、保護者の方々から、ご自身の子供時代のお話を伺います。先輩からのお話です。この後の「大きくなったわたしたち」の学習にも発展していきます。

3年 総合的な学習の時間 「南台のまち」 GT：地域の方々

わたしたちの身近な「南台のまち」のよさを学習する手掛かりに、町会、商店街、児童館等の地域の方々からグループでお話を伺います。保護者の方の考える「南台のよさ」もお伝えください。

4年 総合的な学習の時間 「ザ・ウォーター」 GT：保護者の皆様

社会科の水道、下水道の学習から発展して、洪水や防災の学習に発展など様々な広がりが見られます。ここまでの内容を保護者の皆様にプレゼンテーションをします。アドバイスをお願いします。

5年 総合的な学習の時間 「Our Friend 中野特別支援学校」

GT：中野特別支援学校の先生

これまでの訪問や学習で得たことを生かして、来週に迫った中野特別支援学校5、6年生との交流の準備を進めます。中野特別支援学校の先生も参観にいらっしやいます。

6年 社会 「わたしたちの生活と政治（租税教室）」 GT：地域の税理士さん

地域の税理士の方による租税教室です。出前授業ではなく、事前に打ち合わせをしたTTで進めます。社会科「わたしたちの生活と政治」の学習に位置付き、「税金」に役割について学習します。

南台の連携教育

第13号

平成31年 1月16日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

ご協力に感謝 「地域ふれあい学習の日」

「地域ふれあい学習の日」、様々な学習が展開できました。予定していた学習以外の時間でも、参観の方々と共に考える場面が多々ありました。ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。



1年 生活 「ふゆと ともだちになろう」

GT：しんやまの家の皆様

視聴覚室で、「しんやまの家」の皆様にご案内いただきながら、保護者の方と一緒に昔遊びに挑戦しました。コマ回しやけん玉、折り紙、ぼうずめくり・・・すいぶん上手くなった子がたくさんいました。

2年 生活 「おかえり せんぱい」 GT：保護者の皆様

12名もの保護者の方からの子供時代のお話を伺いました。急遽お願いした保護者の方もいらして感謝申し上げます。12人の方のお話は皆さんそれぞれに異なっていて、子供たちはとても興味をもっていました。



3年 総合的な学習の時間 「南台のまち」 GT：地域の方々

町会長、商店街、児童館の方々から様々な視点で「南台のよさ」についてお話を伺いました。質問も多岐に渡って、時間が足りない程でした。授業後にゲストの方に質問に来た子供もいました。これから発展していく学習がとても楽しみです。

4年 総合的な学習の時間 「ザ・ウォーター」

GT：保護者の皆様

「ザ・ウォーター」これまで調べた内容の中間報告をしました。保護者の皆様も加わっていただき、今後の報告に向けて、プレゼンテーションについてたくさんアドバイスをいただきました。



5年 総合的な学習の時間 「Our Friend

中野特別支援学校」 GT：中野特別支援学校の先生

中野特別支援学校5、6年生との交流の準備を話し合いました。これまでの学習から、「どんなことができるかな?」、「こうしたら、一緒にできそうだね。」と話し合いながら考えていました。中野特別支援学校の先生からもアドバイスいただきました。

6年 社会 「わたしたちの生活と政治（租税教室）」

GT：地域の税理士さん

地域の税理士の方による租税教室です。南中野の地域の方に教えていただきました。「公平」というキーワードで「税金」の役割についてグループで話し合い、その必要性についても考えることができました。



南台の連携教育

第14号

平成31年 2月 7日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

「地域ふれあい学習」の日、その後・・・

1月の学校公開日で行った「地域ふれあい学習」の日ですが、その後の学習に発展が見られます。「地域ふれあい学習」は、年間を通じて様々な切り口から日常的に行っています。1月以降、次のように進みました。どの学年もが学習計画に沿っていく中で、子供の発想を生かしながら学習を充実させていく取り組みが行われています。

1年 生活 「冬とともだちになろう」

しんやまの家の皆様との昔遊びの交流で得た体験を生かして、関係の幼稚園保育園の年長児を南台小に招待して、「昔遊び交流会」を実施しました。教わったことを生かして、楽しくやさしく教える姿がありました。

2年 生活 「おかえりせんぱい」～「大きくなったわたしたち」

保護者の方々から教えてもらった「自分が小さい時のお話」を参考にしながら、「大きくなったわたしたち」の学習に入り、自分の成長について調べることを進めて、まとめに入っています。どの子も自分のことを振り返っているようです。正に「大きくなったわたしたち」です。

3年 総合的な学習の時間 「南台のまち」

当日、8人のゲストの方から聞いた「南台のよさ」を更に自分の課題に沿って調べています。町へのフィールドワークとインタビュー、もう一度、町会長さんにお話を聞いてみる等、活動に広がりや深まりが見られます。

4年 総合的な学習の時間 「ザ・ウォーター」

保護者の方からの励ましやアドバイスをたくさんいただきました。「〇〇するともっと伝わる」、「〇〇で分かりやすかった」等ありがとうございました。その内容を生かして発表内容を修正・・・学年での本番に臨みました。目線や話し方、資料の示し方等、相手意識をもって発表する子が増えました。

5年 総合的な学習の時間 「Our Friend 中野特別支援学校」

中野特別支援学校5、6年生との交流を2回実施できました。1回目の経験を生かして更に交流が進むように改善した2回目の交流では更になかよくできました。

6年 社会 「わたしたちの生活と政治（租税教室）」～「卒業プロジェクト」

地域の税理士さんから学ぶ租税教室を通して、仕事についても理解を深めました。この先、戦争体験講話では疎開のことを地域の方から学びます。また、地域在住の元女子レスリング世界チャンピオンともふれあいます。卒業プロジェクトと関連付け、地域のたくさんの先輩から学び、自身の将来も考えます。

<町会・自治会クイズラリー 「Lovers ウォーク」>

現在、中野区内で行っている町会・自治会クイズラリー「Lovers ウォーク」ですが、本校児童3年生以上にもカードが配られました。南中野・弥生の「わくわくエリア」は、この地域を知るにはとてもよいものですが、やってみるとなかなか難しいです。

そこで、校長室前に貼りながらみんなで解いています。学校公開日にも見て下さい。2月11日までですので、ご家族で挑戦してみてください。



南台の連携教育

第15号

平成31年 3月11日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

連携教育、真っ盛り

2月から3月にかけて、「地域ふれあい学習」を中心に様々な取組が当たり前のように進んでいます。連携教育真っ盛りというところです。これもたくさんの方々のご理解とご協力のお陰です。ありがとうございます。久しぶりになりますが、ご紹介します。



【通学路安全運転呼びかけ隊】
地域、PTA、学校の連携で誕生しました。土曜公開日の朝、安全運転を呼びかけてくださいます。



【6年】元女子レスリング世界チャンピオン、成國さん（地域在住）に講話をいただき、一緒に体を動かしました。



【2年図工】なりきりファッションショーの制作です。南中ボランティアにもお手伝いいただきました。



【6年社会】実際に疎開された地域の油井さん、山口さんから当時の生活や地域のことについて教わりました。



【5、6年 お別れスポーツ大会】
親睦を深めながら、6年生から5年生への引き継ぎが始まります。



【2年】国語「スーホの白い馬」の発展で、モンゴルの方を招いて、馬頭琴の演奏を聴きました。



【4園交流会】近隣保育園の年長児が集まってのドッジボール大会です。小学校が身近になりました。



【4年社会】社会科見学での防災体験（写真は風雨）です。地域防災の学習につながっていきます。



【1年体育】運動遊びの学習を公開しました。保育園幼稚園の先生方がたくさん参観にみえました。



【3年総合】「南台のまち」の学習が発表会や地域への作品展示に発展してきています。



【図書ボランティア】保護者の方による読み聞かせの最終回です。1年間ありがとうございました。



【5、6年南台太鼓】始業を告げる南台太鼓の引き継ぎが始まりました。各学年の仕事を先輩から教わります。

南台の連携教育

第16号

平成31年 3月13日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

日本ヴォーグ社との交流で得る体験

平成29年にこの南中野に日本ヴォーグ社、公益財団法人日本手芸普及協会が移転していらっしゃいました。丁度、南台小学校誕生の年です。ご縁と巡り合わせもあり、初年度に展覧会への材料提供をいただいたところから交流が始まり、今年度は様々なご支援をいただきました。この度、卒業式に合わせて素敵な作品を展示していただけることになりました。お礼の意味も込めて、日本ヴォーグ社の方々との交流をまとめました。地域の企業の方のご支援に感謝いたします。



【美術工作クラブ：日本ヴォーグ社へ】
日本ヴォーグ社まで出かけて、屋上の草花を使って押し花づくりを行いました。



【美術工作クラブ：作品の仕上げ】
2回目は日本ヴォーグ社の方が来校、図工室で押し花を使ってクリアファイルをつくりました。



【カラフルカップケーキ】夏休みの本校希望者対象の親子ケーキづくり教室です。焼ける間に折り紙風船づくりも教えてもらいました。大盛況でした。

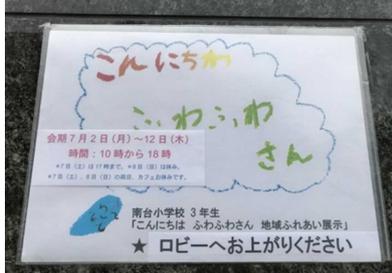


うまく焼きあがるといいです…。

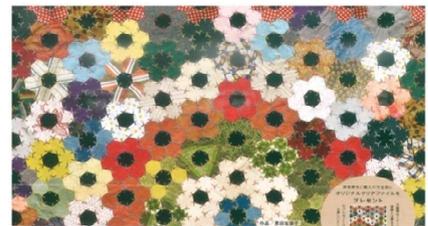
【展覧会の材料提供】
平成29年度の第1回展覧会に毛糸やボタン、布地、綿等の材料の提供をしていただきました。展覧会のインテリアボランティアの子供たちが、いただいた材料で立て看板を手づくりしました。これが本校と日本ヴォーグ社との交流の始まりです。



【3年：こんにちはふわふわさん】
「地域ふれあい展示」で3年生代表の作品がロビーに展示されました。



このようなかわいらしい宣伝も…。



【キルト&ステッチショーご招待】
公益財団法人日本手芸普及協会主催のイベントに本校児童とご家族の希望者が無料招待されました。

交流が始まって2年、様々な角度からその連携を深めてきました。現在、日本ヴォーグ社の担当の方と図工専科で来年度の交流計画が練られています。現在、日本ヴォーグ社前の笹に3年生が学習した「南台のまち」のリーフレットがビニールに入れられて吊り下げられています。どうぞ、お持ちになってください。このアイデアは日本ヴォーグ社の方の発案です。

子供たちは交流を通して、貴重な体験を積んでいます。来年度の交流も大変楽しみです。

南台の連携教育

第17号

平成31年 3月15日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

南台小会場の大きな地域行事

「地域コミュニティの核となる学校づくり」は本校の重点です。「地域に生きる南台の子」の育成のためにも地域行事で様々な方とかわることは大切なことです。また、地域や保護者の皆様も顔見知りになり、互いにあいさつを交わし、いざという時は協力できるような関係にあれば、学校としてはとてもありがたいですし、それは子供にもとてもよい影響を与えます。皆さんが集う貴重な機会である南台小会場の大きな地域行事をポスターで振り返ります。

南台小避難所訓練・7町会自治会合同訓練

日時 平成30年5月12日(土)
12時20分～15時00分

場所 南台小学校校庭・体育館

持物 上履き、タオル、お飲物

訓練内容

起震車体験 仮設トイレ
初期消火体験 救出救助体験
煙体験 応急救護体験

美味しい炊出しも用意しています!

3つ以上体験で景品GET♪

もしもの時に、自分たちでできることを身につけておきましょう!
【参加防災会・自治会】 多田地域防災会 弥生六南台地区防災会
八鳥地域防災会 南台五丁目地域防災会 南台四丁目東町会防災会
南台四丁目西町会防災会 コーシャ/ハイム中野弥生町自治会

【主催】 南台小学校避難所運営本部
【協力】 中野消防署・中野区

南中野地区大運動会

南中野地区まつり
10月14日(日) 10月21日(日)

所=南台小学校校庭

主催=南中野地区まつり実行委員会
青少年育成南中野地区委員会

11月17日(土)
南台小学校・校庭

時間: 11時10分～15時まで
(雨天決行)

模擬店(焼きそば、豚汁、コロロドック)
無料サービス、先着順

防災用品の展示
(家具の転落防止器具等)

起震車による体験

主催: 多田町会、八鳥自治会
参加団体: かつぱまつり実行委員会
「平成30年度東京都地域の活力発掘事業助成、対象事業」

地域防災力の向上!
かつぱまつり

当日のみんなの笑顔が、みんなが笑顔になるきっかけになります。

問合せ: みなみ児童館 (☎3382-7399)
南中野区民活動センター運営委員会 (☎3382-1635)

本校の学区の7町会自治会合同で行っています。今後の校舎移転に伴う避難所の移動も視野に入れています。春の実施は区内でも珍しいです。
【平成31年度: 5月11日(土)】

現在の南中野地区の学校状況から、ここ数年、本校実施です。地域毎に子供たちは参加、音楽隊が小中連携での演奏の機会をいただいています。
【平成31年度: 10月20日(日)】

統合再編を機に、小学校を会場として実施し、子供たちも運営にかかわります。学区外からもたくさんのお客さんが来る地域の楽しいイベントです。
【平成31年度: 11月9日(土)】

児童館・学童・キッズは共に歩むパートナー

地域行事でかつぱまつりに触れましたが、かつぱまつりに参加した教職員が、5年生の運営する姿に「学校で見ていて伸びたなあと感じていた力をここでも生かして活躍の場をもらってうれしくなっちゃいました。」と呟いていました。かつぱまつりのこの部分は、児童館のおかげです。お店、運営、司会等、活躍の機会を本当にありがとうございます。

先日、多田学童クラブの「スマイルパーティー」を見る機会がありました。モノマネをする子、けん玉をする子、一人で歌う子、ダンスをする子、プログラムをめくる子、どの子も自分のやりたいと思っていることをゆったりした時間の中で発表している姿をととてもうれしく思いました。

現在、児童館は2カ所(みなみ児童館、南中野児童館)、学童クラブは4カ所(多田、新山、神明、コンビプラザ中野)、そしてキッズプラザ新山が関係しています。

学校とはまたひと味違う様々な活動の機会があります。子供が小学校時代を過ごす際、本校と児童館・学童・キッズは共に歩むパートナーの関係です。このよりよい連携を大切にしています。



みんなが活躍する会でした

南台の連携教育

第18号

平成31年 3月19日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

音楽の発表もふれあいの場

今年度、年間を通して音楽朝会を行ってきました。毎月の歌が決まっています、全校で歌を歌ったり、リズムをとったりしながら音楽を楽しみました。3月の歌は、「レッツゴーあしたへ」と「りにんしきのうた」で、毎日、お昼の放送でも流れています。また、全校で歌うことに加えて、各学年の音楽の発表も行いました。先週、1年生と2年生が発表して全学年で行うことができました。



【音楽朝会～みんなで歌います】
毎月1回、全校380人で元気よく気持ちよく歌う機会です。



【音楽朝会～発表の場】
音楽朝会の機会を生かして、全学年が発表しました。4、5年生は連合音楽会の校内向け発表となりました。



【南台小学校音楽隊】
地域での演奏を2回、体育館でのコンサートを2回できました。たくさんの方に聴いていただきました。

音楽隊の演奏も4回（南中野地区運動会、かっぱまつり、ミニコンサート、卒業コンサート）行うことができました。学年発表、音楽隊のコンサートには保護者や地域の皆様が多数来校して鑑賞していただきました。そのおかげで子供たちもはりきって演奏していたと思います。これもふれあいの場だと考えています。

本校では集会や行事の際には、子供たちが感想を伝えて交流しています。音楽朝会の各学年の発表にも感想が伝えられます。4、5年生の連合音楽会の校内向け発表の際には、連合音楽会本番へ向けて応援メッセージが送られました。今年度音楽隊がコンサート等で演奏してくれた曲は9曲（RPG、負けないで、海の声、シングルベル、聖夜、よろこびの歌、タッタ、サザンカ、ハピネス）です。音楽隊の皆さんに心から「ありがとう」とメッセージを送りたいです。

卒業・進級・入学へのお祝い展示

卒業、入学、進級の季節を迎え、様々な連携でお世話になっている日本ヴォーグ社と紙千代倶楽部さんからお祝いの展示をしていただきました。正面玄関がとても華やかになりました。ありがたいことです。ご来校の際には是非ご覧ください。



【春のイメージ】
折り紙の桜が咲きほこっています。



【四季】
四季に関連した展示で1年を振り返ります。



【お祝い展示をありがとうございます】
キルトステッチと折り紙の展示が正面玄関を彩っています。

南台の連携教育

第19号

平成31年 3月20日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

保幼小中連携教育の鍵は「接続」

ここ数日、近隣の幼稚園、保育園で卒園式が行われています。そこには、小学校入学を楽しみにする姿がたくさんありました。また本日、南中野中学校の卒業式も執り行われました。3年前に卒業していった旧多田小、新山小の子供たちは中学3年生になり、大変立派な姿で式に臨んでいました。明後日は本校の第2回卒業式です。舞台上で学級担任から呼名があります。そこは晴れ舞台です。きっと一人一人が6年間で一番よい返事をして、卒業証書を受け取れると思っています。

幼稚園、保育園、中学校、小学校の卒園、卒業に触れてきました。各学校段階の接続の際にその段差を低くしていくことが、いわゆる小1プロブレムや中1ギャップを防ぐと言われてきました。もう少し幅を広げて、各学年の接続もとても大切なポイントであると思っています。幼稚園、保育園から小学校への滑らかな接続が保幼小連携、小学校から中学校への滑らかな接続が小中連携・・・だとすれば小学校各学年段階の接続の工夫が、保幼小と小中を結び付け、保幼小中連携教育につながる鍵になっていきます。

現在、本校のどの学年も次の学年に向けての準備を行っています。2年生以上が受け持っている仕事の引き継ぎも進んでいます。最高学年を目指す5年生は6年生から校旗と南台太鼓を引き継ぎ、全校朝会で6年生と太鼓をたたきました。卒業式練習はもちろん、当日の式をしっかりと支える役を担っています。4年生は委員会活動の準備を始め、5年生の仕事を学んでいます。3年生は初めてのクラブ活動の準備がはじまり、うさぎの世話も覚えようとしています。2年生は生活科の「おかえりせんぱい」、「大きくなったわたしたち」の学習で成長を振り返り、生活科発表会を通して、3年生への準備が進んでいます。1年生は1年間の出来事やできるようになったことを振り返りながら、新しい1年生を迎える準備を進め、入学式のアトラクションも見事に練習しています。どの学年も各教科、領域の学習が様々な関連し合って進んでいます。1年生を例に挙げると、次のように進んでいます。



【校旗と南台太鼓の引継ぎ】
引継ぎの際に、5年生と6年生で太鼓をたたきました。

【生活：普遊び交流会】

関係幼稚園保育園の年長さんを招いて交流会をしました。しんやまの家の皆さんから教わった普遊びを生かして一緒に遊んで、上級生になる思いを高めました。1月からの学習です。

【生活：もうすぐ2年生】

学習生活、様々なところで自分ができるようになったことを振り返り、自分の成長を確かめました。

<1年生のこの時期の学習>

【特別活動：6年生を送る会】

お世話になった6年生へのお礼に入学式で行う「ともだちになるために」を演奏し、メッセージを送りました。

【道徳：ええところ】「個性の伸長」

自分のよさについて考えました。

【道徳：もうすぐ2年生】

「よりよい学校生活・集団生活の向上」
楽しい学校生活やクラスのよさを考えました。

【図工：教室の飾りつけ】

新1年生を迎える教室を飾り付けるものを作成しました。

【音楽：1年間のまとめ】

入学式で演奏する「ともだちになるために」を練習し、音楽朝会では「きらきら星」を演奏しました。

【国語：いいこといっぱい1年生】

1年間でできごとを分担して日記風にして、次の1年生が分かるようにしました。

どの学年もこれまで身に付けた力を発揮し、次の学年への思いや願いを深めていることと思います。この進級の時期は一層子供たちの力が伸びて内面が育つ時期です。この身に付く力と育つ内面を大切に各学年の接続を進めています。

不定期の刊行でしたが、お読みいただきありがとうございました。次号で最終号の予定です。

南台の連携教育

第20号（最終号）

平成31年 3月25日
中野区立南台小学校
校長 松井 敏
学校地域連携担当
(連携教育担当)

互いの役割を果たし、垣根を低くする

南台小学校連携教育通信「南台の連携教育」というタイトルでの刊行をはじめて半年になります。保幼小中連携教育に加え、地域、保護者の方との連携、その中で様々な方々にお世話になっていることや関係諸機関とのつながり、各学年の接続・・・等、なかなか見えにくいことを少しでもお伝えできればと考え、発行してきました。今回で最終号です。

昔から子供がよりよく育つためには、地域、家庭、学校の連携や協力が大切とずっと言われてきていました。あまりにも当然のことですが、その意味や意義について再度考えていくことが必要ではないかと思っています。

折しも、中野区では、平成25年度から区一斉に小中連携教育の推進が始まり、本校の位置する南中野中校区では、南中野中、みなみの小と共に「南中グループ」という愛称もいただいて小中連携が進んでいます。本校では、従来から近隣の関係する幼稚園保育園と共に保幼小連携を進めていましたが、昨年度より区全体で保幼小連携の推進が始まり、次年度は保幼小中連携を進めていくことがうたわれています。

学校、家庭、地域の連携、保幼小中連携、関係機関等との連携・・・と様々な連携教育があります。冒頭でお話したように、改めて「連携」について考える機会ととらえ、一度見直してみたいと思います。

「連携」という言葉を広辞苑で調べました。次のように書いてあります。『れん・けい【連携】互いに連絡を取り合って物事を行うこと「——プレー』とありました。大変短いフレーズですが、とても意味のある言葉です。連絡を取り合って物事を行うというからには、その連絡の前提として、学校には学校の、家庭には家庭の、地域には地域のそれぞれ独立した侵しがたい役割と責任があり、その独立性を無くしての連携はあり得ない、その独立性があって連携が成り立つということではないかと考えます。学校は学校がやるべきことをしっかりやる、それが学校の役割であり責任だと考えます。家庭や地域においてもこのやるべきことをやることは同様だと考えます。そして、「連携」はこの基盤の上に成り立っているのです。学校はこれからも教育活動の更なる工夫改善に努めます。

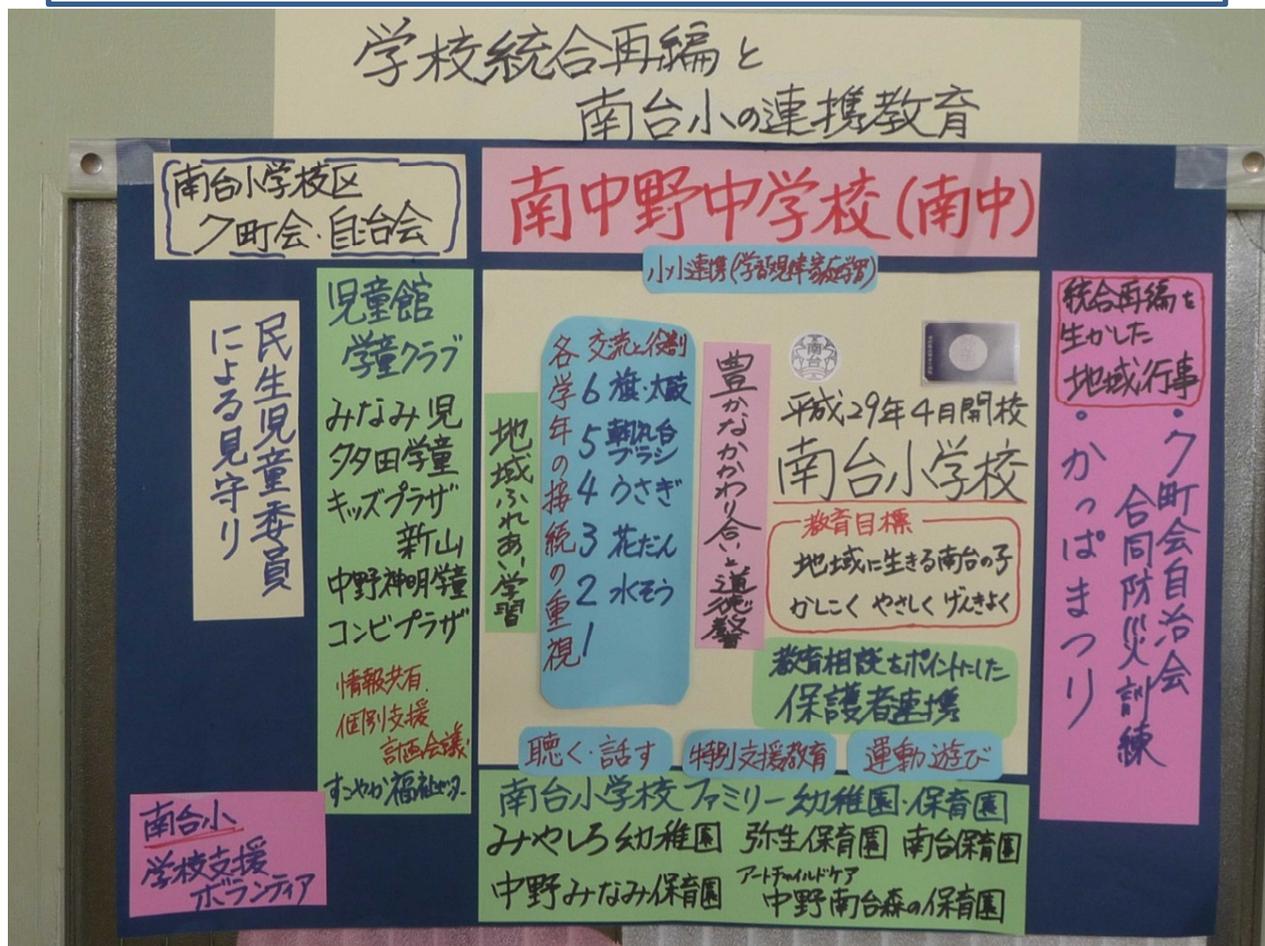
保幼小中連携についても同様で、保育園、幼稚園にはそこで行わなければならないことがあり、同時に小学校で行わなければならないことがあります。さらに、中学校でももちろん同様です。現在の南台小学校の保幼小中連携は、この独立性を尊重した上で互いにしっかりと連絡をとり合い、互いのメリットとなり、子供に還るように連携教育を進めています。

真の連携は互いの役割と責任を尊重し合うところに始まり、互いの垣根を低くすることで進んでいくと思います。学校にはできることとできないことがあります。やらなければならないこととしてはいけないことがあります。本来の学校の役割と責任をよく見つめ直して足元を固めて、そこでいい仕事をするをさらに目指していきます。

学校の取組について、これまでも情報発信に努めてきましたが、十分でないところも多々あったかと思っています。新学習指導要領の先行実施は始まっています。全面実施まで1年となりました。大きな改訂です。学校としての考え方や先行実施で行っていること、外国語活動やプログラミング教育等の準備も進んでいますので、お伝えできるよう努めます。

また、新学習指導要領の趣旨のひとつに「社会に開かれた教育課程」があります。社会全体で連携し合って共に子供たちを育てる時代の新たな幕開けです。どうぞ学校に足を運んでいただき、子供たちにかかわっていただければと思います。新年度には「南台小学校学校支援ボランティア」という人財バンクの登録のお願いをします。さらに、「地域コミュニティの核となる学校づくり」を推進します。どうぞよろしくお願いいたします。お読みいただきありがとうございます。

みんなで育てる南台の子



<南台小学校の連携教育推進のために>

- 統合新校、南台小学校にかかわる全ての財産（施設設備、自然、旧校の歴史、地域、保護者関係諸機関、近隣企業、雰囲気、人財・・・等）を南台小の子供のために活用して教育活動を進めていきます。
- 学校を内にも外にも開いて、訪問しやすい雰囲気を創り出し、情報共有を図ります。
- 学校の取り組みの見えにくいところ（学校公開日以外の授業や校内での集会や行事等）について、お知らせできる仕組みを模索し、参観等の機会を呼びかけていきます。

<10月19日(金)の学校評議員会でいただいたご意見>

- 連携教育の推進の際には、そこにかかわる大人は、「全ては南台小の子供たちの成長のためのもの」であることを認識して、物事に当たりましょう。
(子供第一で、何のためにかかわるのかを常に意識していくことが大切だと思う。)
- 授業が外部講師に「丸投げ」にならないよう、打ち合わせを大事にすることやそれをコーディネートするような機能をもてるようにしていくのではないかと。
- 学校にかかわるたくさんの方々がみんな力を合わせられるようになるといいですね。
- 統合再編した統合新校として、是非2年目のこの時期に大切にしていって欲しい。